

プレスリリース

令和8年4月23日
近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所

令和8年度 奈良森林管理事務所重点取組事項の公表について

奈良森林管理事務所では林業の低コスト化・省力化への取組やシカによる食害への対策等を通じた森林・林業施策推進への貢献、地域の安全・安心を確保するための治山事業の着実な実施による国土強靱化と林産物の安定供給、歴史的木造建造物の文化継承に寄与するための普及啓発などによる公益重視の管理経営、民有林関係者等多様な主体への技術支援・連携した森林整備等を通じた民国連携及び民有林支援に積極的に取り組むこととし、このたび、令和8年度の重点取組事項をとりまとめましたので公表します。

【問い合わせ先】



林野庁近畿中国森林管理局

奈良森林管理事務所

担当者：調整官 木下

電話：050-3160-6150

林野庁



【高取城】（高市郡高取町 高取山風景林）



【ガマ滝】（吉野郡天川村 地峯国有林）
じみね

令和8年度 奈良森林管理事務所重点取組事項



【六条ふれあいまつり】（奈良市 六条小学校）



【大和三山】（橿原市 大和三山風景林）



【奈良県フォレスターとの意見交換会】
（十津川村役場）

令和8年度 奈良森林管理事務所重点取組事項について

目次

- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | 森林・林業施策推進への貢献 | P 1 |
| 2 | 公益重視の管理経営 | P 3 |
| 3 | 民国連携及び民有林支援 | P 7 |



- 再造林・保育までの収支のプラス転換を図る「新しい林業」の実現に向け、これまでの取組成果（下刈回数削減、通年下刈、防護柵への低コスト資材の活用）をマニュアル化し、民有林関係者へ発信します。
- 造林作業の一層の低コスト化・省力化を目指し、引き続き、現場実証に取り組みます。

森林資源の充実に伴い人工林は主伐・再造林の時期を迎えています。再造林後の下刈り作業は炎天下での作業となり、作業環境の改善を図ることが重要となっていることから、下刈り回数の削減、省力化に向けた取組を行います。植栽木は成長がより優れた「エリートツリー」や「特定苗木」により雑草木から植栽木が早く抜け出すことで下刈り回数の削減につながる可能性について検証します。また、画一的な下刈りを実施するのではなく、植栽木と雑草木の競合状態を見極めながら下刈りを省略する取組を行います。

令和8年度の取組

下刈り4.46haを省略する予定です。加えて下刈り作業における労働の軽減や安全の確保等の観点から、作業時期をずらした通年下刈りを20.58ha実施する予定です。



【時期をずらした通年下刈り実施後 R7.11】
たかとりやま
(高市郡高取町 高取山国有林)

主伐・再造林を進めていく中で、シカの増加による新植苗木への被害が深刻化し防護柵を設置して防ぐことが必要となり、再造林コストの増加に影響しています。再造林の低コスト化を進める上で、より安価な防護柵の設置が課題となっています。

一般的な防護柵は、シカによる網の噛み切りを防ぐため、侵入防止網にステンレスが編み込まれたものを使用していますが、高価で重たいことが課題です。そこで、網の目が細かく、安価なアニマルネットを使用することにより防護柵の低コスト化の取組を行います。

奈良森林管理事務所では令和7年度に防護柵の一部にアニマルネットを使用する取組を行いました。令和8年度以降も引き続き低コストへ向けての取組を進めていきます。



【アニマルネットを使用した防護柵 R7.12】
たかとりやま
(高市郡高取町 高取山国有林)

- 地域の特性に応じて、捕獲や生息状況・行動把握調査、被害防除(防護柵の設置等)等の有効な手段を組み合わせた鳥獣被害対策を総合的に推進します。

シカによる食害が農林業に深刻な被害を及ぼしている中、広域に移動するシカの対策は、農業被害を主体とした里地域のみ
の対策だけではなく、本来シカが生息している森林における対策が必要となります。

奈良森林管理事務所では、国有林と周辺の民有林や農地等の被害対策を市町村と連携して取り組んでいきます。

令和8年度の取組

委託事業での捕獲を入谷国有林（吉野郡天川村）、桧股国有林（吉野郡野迫川村）、伯母子国有林（吉野郡野迫川村）及び
高取山国有林（高市郡高取町）において実施を予定しています。



【シカによる立木の剥皮被害】



【くくりワナによる捕獲（委託事業）R7.7】

あかだに
（五條市大塔町 赤谷国有林）

- 豪雨や地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、**第1次国土強靱化実施中期計画に基づき治山事業・森林整備事業を着実に実施し、防災・減災の取組を進めます。**
- 十津川地区において、**民有林直轄治山事業を通じた本格復旧を着実に進めます。**

国民が安心して暮らせる社会の実現に向けて、効率的かつ効果的な治山対策に取り組みます。

特に、平成23年の紀伊半島大水害からの早期復旧に向けて、奈良県からの要請を踏まえ、地域の安全・安心を確保するため、令和8年度においては、十津川村、天川村において7箇所の民有林治山事業を予定しており、着実な事業の実施に取り組みます。



【山腹工施工状況 R7.12】
つほのうち
(吉野郡天川村 坪内工区)



【溪間工施工状況 R7.9】
いまにし
(吉野郡十津川村 今西工区)

森林土木工事における働き方改革の推進、生産性向上への取り組みとして、監督業務時の遠隔臨場に取り組みます。

また、受発注者間のコミュニケーションの円滑化、事務負担の軽減を図るため、情報共有システムの推進に取り組みます。



遠隔臨場による材料検査の実施状況



Starlink地上アンテナと
Wi-Fiパッケージの設置状況

※遠隔臨場：ウェアラブルカメラ等を使い映像と音声の双方向通信による確認や検査を行うこと
※情報共有システム：監督職員と受注者の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図るシステム

「農林水産省木材利用推進計画」に基づき、林野公共事業において、森林土木工事の実施にあたっては、周辺景観との調和や木材の特質を考慮しつつ、治山ダムや土留工におけるコンクリート用型枠や看板、柵工、筋工、横断溝等に間伐材を使用した木製品を積極的に利用します。

また、本数調整伐箇所においては、その伐採木を活用し、表土の流出を防止したり、雨水の分散、植生基盤の生成を図るため等高線状に配置する筋工を設置します。



【間伐材を使用した丸太残存型枠 R7.9】
いまにし
(吉野郡十津川村 今西工区)



【間伐材を使用した丸太筋工 R7.10】
ほべだに
(吉野郡上北山村馬部谷国有林)
奈良森林管理事務所

- 国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、林産物の供給等の**森林の有する多面的機能の発揮に向けて、多様な森林づくりを推進**します。
- 「古事の森」を通じて、**歴史的木造建造物の修復用資材の供給**や、**森林と木の文化の関わり**と重要性など、木の文化継承に貢献する活動に取り組みます。

国有林では、森林の有する公益的機能をより高めていくため、自然条件や社会的条件を踏まえつつ、複層林化、針広混交林化、長伐期化や里山の整備など、多様な森林づくりを進めています。

奈良森林管理事務所においても誘導伐による複層林化や新植箇所における広葉樹の植栽などを行い、森林の有する多面的機能の発揮に向けた多様な森林づくりを推進しています。



【誘導伐（带状皆伐）
の実施状況】

ひのきまた
(吉野郡野迫川村 桧股国有林)

我が国の木の文化の象徴とも言うべき歴史的木造建造物を後世に守り伝えていくため、「古事の森」を設定し、修復用資材の供給や、森林と木の文化の関わりとその重要性について様々な関係者と連携して普及啓発イベントを実施するなど、木の文化継承に貢献する活動に取り組んでいます。

令和8年度の取組

「春日奥山」及び「斑鳩の里法隆寺」の各協議会主催による、森林と木の文化に関連した普及啓発イベントや森林整備に取り組む予定です。



【春日奥山古事の森普及啓発
イベント R7.10】



【斑鳩の里法隆寺古事の森普及啓発
イベント R7.11】

- 国産材の需要の拡大、加工・流通の合理化等に取り組む木材需要者（製材工場等）と協定を締結し、木材を安定供給する「**安定供給システム販売**」に取り組めます。

公益重視の管理経営を一層推進し、適切な施業の結果得られる木材については、地域における木材の安定供給体制の構築等が図られるよう、需要動向を把握しつつ、持続的かつ計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献する取組を進めていきます。

令和8年度の取組

森林整備事業において誘導伐（主伐・間伐）6ha、保育間伐（存置型）7haを実施し、1,000m³の木材（素材（丸太）換算）供給を予定しています。国有林材の供給に当たっては、通直材で住宅の柱などに使用可能なものは、木材市場でのセリ（競り）を通じて供給します。また、合板や集成材として使用する材、バイオマス燃料材は、国産材の需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む製材工場等と協定を締結し、国有林材を安定的に供給する「システム販売」に取り組んでおり、700m³を予定しています。



【山土場における素材（丸太）極積み R7.9】

たかとりやま
(高市郡高取町 高取山国有林)



【木材市場での丸太の販売 R7.10】

(桜井市 西垣林業株式会社)

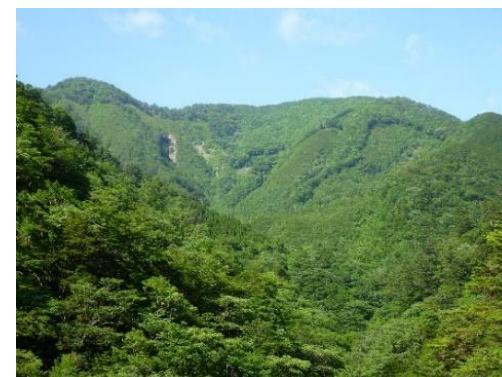
- 原始的な天然林や希少野生生物が生育・生息する森林等を「保護林」や「緑の回廊」として設定し、モニタリング調査等を通じ適切な保護・管理を進めます。
- 国民の森として、「レクリエーションの森」を活用した地域振興に取り組みます。

奈良森林管理事務所では、原始的な天然林、地域固有の生物群集、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持等を目的として、6箇所の保護林を設定しています。

名称	面積	選定理由
金剛山ブナ希少個体群保護林（御所市）	16ha	縞状に取り残された希少ブナの群落の保護
鳴川山生物群集保護林（吉野郡天川村）	346ha	大峰山系における代表的なウラジロミ、コメツガ天然林の保護
北股暖地性昆虫生息地希少個体群保護林（吉野郡川上村）	123ha	特異な分布をしている暖地性昆虫の生息地の保護
池郷生物群集保護林（吉野郡下北山村）	703ha	そばやき要素と呼ばれる西日本太平洋側に特徴的な生物群集を有する森林の保護
天川水生生物希少個体群保護林（吉野郡天川村）	147ha	水中生物の保護
入谷ブナ・ツガ・ウラジロミ希少個体群保護林（吉野郡天川村）	229ha	希少なブナ、ツガ、ウラジロミ天然林の保護



【鳴川山生物群集保護林】
なるかわやま
（吉野郡天川村 鳴川山国有林）



【北股暖地性昆虫生息地
少個体群保護林】
きたまた
（吉野郡川上村 北股国有林）

林野庁では、森林資源を活用した観光資源の創出に取り組んでおり、国有林に設定している「レクリエーションの森」のうち、特に魅力的な自然景観等を有し、国民の皆様を訪れていただきたい国有林を「日本美しい森お薦め国有林」として、全国で93箇所を選定し、重点的に整備を図ることとしています。

奈良森林管理事務所管内では「大和三山風景林」と「高取山風景林」の2箇所が選定され、地元関係者からなる管理運営協議会と連携し施設整備等の取組を進めています。

令和8年度の取組

「大和三山風景林」（橿原市）及び「高取山風景林」（高取町）について、それぞれ管理運営協議会と連携し、地域の要望を踏まえた整備内容の調整を図り、歩道整備や修景伐採などを行う予定です。



【大和三山風景林 歩道整備】
かぐやま
（橿原市 香久山国有林）

- 国有林と民有林が近接している地域において、国有林と民有林が連携して森林整備に取り組む「**森林共同施業団地**」を設定し、地域における効率的な森林整備の実現に貢献します。
- 森林経営管理法の改正を踏まえて、**市町村等からのニーズに応じた地域における集約化の取組への支援**を行います。

国有林と民有林が隣接している地域において、一体的な森林施業の実施が可能な区域を「森林共同施業団地」として設定しています。これにより民国一体の路網整備、土場の相互利用、木材の協調出荷等が可能となり、間伐等の施業の集約化・低コスト化の促進が期待されます。

奈良森林管理事務所においても、桧股国有林（吉野郡野迫川村）において隣接する民有林関係者との間で森林共同施業団地を設定しています。



【共同施業団地の野迫川村村有林】



【地域連絡調整会議の開催 R8.2】

市町村林政への支援について、市町村が抱える地域課題や国有林への要望等のニーズに合わせ、重点的に支援に取り組む地区及び事項を設定し、効果的な支援の推進に取り組めます。また、次年度予算の説明会において、農政局と合同で市町村を訪問のうえ、林野庁関係予算の説明を実施するとともに、市町村支援メニューの説明や要望を聞き取ることとしています。

令和7年度は、十津川村、野迫川村、上北山村に配属されている奈良県フォレスターと意見交換を実施し、市町村が抱える課題の把握等に取り組みました。

今後も、関係機関と連携しながら市町村支援に努めていきます。

【フォレスター職員等との意見交換会】



（野迫川村役場庁舎 R8.2）



（上北山村役場庁舎 R8.3）

- 国有林のフィールド・技術・組織を活かし、**現地検討会の開催等**を通じて、民有林関係者への技術的支援、人材育成、森林環境教育への支援を行います。

市町村林務担当者への支援や林業事業体の育成に向け、国有林等のフィールドを活用した現地検討会等を開催します。

低コスト造林、伐採から造林までの一貫作業システム、獣害対策等の国有林で実践している技術の普及等について、途中経過や実証結果等を情報発信していきます。

令和7年度は野迫川村の桧股国有林に設定している1年生コンテナ苗の植栽試験地において、苗木の成長比較や大型ドローンによる資材運搬のデモンストレーションを実施しました。



【低コスト造林試験地
(1年生コンテナ苗植栽)】



【現地検討会 R7.11】

令和8年度の取組

再造林にかかるコストの低減をテーマとした1年生コンテナ苗の植栽試験については、令和3年度に植栽試験を開始した高取山国有林の調査を継続し、引き続き試験地のデータ収集等に取り組んでいきます。

ひのきまた
(吉野郡野迫川村 桧股国有林)

国有林や森林行政に対する理解の醸成を図る機会として、地域の関係者等からの要請を踏まえ、地域関係者と連携してイベント等を実施します。

なお、大亀谷国有林(奈良市赤膚町)では、「ふれあいの森」、「遊々の森」等を設定し、ボランティア活動による森林整備や協議会との連携による各種イベントなどを行っています。

令和8年度の取組

引き続き、教育機関等からの要請に基づく講師派遣、国有林のフィールドを活用した森林環境教育などに取り組みます。



【奈良所で開催した森林教室 R7.11】

主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和8年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	34.2
	間伐	千m ³	11.0
販売	立木販売	千m ³	33.1
	製品販売	千m ³	1.0
造林	地拵え	ha	10.4
	植付	ha	12.1
	下刈り	ha	20.6
	つる切・除伐	ha	—
	保育間伐 (活用型・存置型)	ha	7.5
	保育間伐 (本数調整伐)	ha	61.1
林道	林道新設	m	—
	改良	m	—
治山事業	国有林直轄治山	百万円	158
	民有林直轄治山	百万円	2,044

※注

①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量には、分収林の民収分の数量を含みます。

③林道には、林業専用道を含みます。

④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

⑤単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。

【問い合わせ先】

林野庁 近畿中国森林管理局

奈良森林管理事務所

〒630-8035

奈良県奈良市赤膚町1143-20

TEL: 0742-53-1500

E-mail: kc_nara@maff.go.jp